



## 「いのちのパンと収穫」

よるこび研究会  
メッセンジャー

奥田英男

ハレルヤ いのちのパンのみことばを与えて下さった主イエス様は次のように語られました。「なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。それこそ、人の子があなたがたに与えるものです。」(ヨハネの福音書6章27節)

私は、このみことばに使命を感じ、至る所で聖書のみことばを語っています。

家族・親族の間で、仕事を通して、食事先・旅先などで、生活の中のあらゆる人間関係の中でキリストを証しし、いのちのパンを配っています。

私にこの仕事を与えて下さっている主イエス様は、サマリヤの女性の所でこのように言われました。「あなたがたは、刈り入れ時が来るまでに、まだ4ヶ月あると言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。」(ヨハネの福音書4章35節)

アーメン。本当に、このみことばに実感を覚えています。今年、主イエス様が刈り取って下さった方々を見てみますと、運送業の方、料理人の

方、ハウスメーカー営業ウーマン、飲食店マネージャー、主婦、入院されている方、親族のご夫妻、趣味の音楽仲間、ディーラーの営業マンなどなど多種多様な人々なのです。目を上げて畑を見ると、日本の畑はどこも色づき、刈り入れ時を迎えています。

ところが課題があります。それは主イエス様が次に言われた事です。

「群衆を見て、羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかわいそうに思われた。そのとき、弟子たちに言われた。収穫は多いが働き手が少ない。だから、収穫の主、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」(マタイの福音書9章36～38節)

これは主イエス様が与えて下さった祈りの課題です。私達は収穫の主と共にいのちのパンを配給し、刈り入れの働き手として立ち上り、この祈りをTPCの聖徒の皆様と愛の香として、天の父なる神様にお捧げして参ろうではありませんか。

### TPCの活動目的

- (1)閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える
- (2)超教派として活動する
- (3)毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う
- (4)伝道、学びなどのために貸室を提供する